



ザラメ到来のロングルート

頸城 火打山～ハンノキ平 山スキー

長谷川

【日時】 2015年3月21日（土）～2日（日）
【メンバー】 L長谷川J、SL前田N、坂村、前田T

以前に澄川を滑ったときに見上げた真っ白な一枚の斜面、ハンノキ平。ずっと滑りたい！と思っていたのがついに実現できた。当時の印象のままに、緩やかな弧を描きながら澄川と黒菱川に挟まれるようにして伸びる雪原は独特で秘境的な雰囲気、スキー別天地でした。

3/21：杉ノ原スキー場～三田原山～黒沢池～高谷池ヒュッテ（晴れ）

3月いっぱい営業している杉ノ原スキー場のリフトを利用して入山する。季節によっては最上部の高速リフトが運休することもあるが、今回は乗ることができた。標高は一気に1850mまで上がる。

ゲレンデトップから、外輪山をぐるりと巻き登るように稜線へ出る。稜線に出ると視界が開けて、今夜泊まる高谷池周辺や火打山の眺めが良い。稜線を三田原山まで進みシールを外す。先日の雨なので、斜面には縦溝が刻まれている。北向き斜面で雪は固く、滑りは中々の試練だった。黒沢池の雪原もスキーは良く滑るが、洗濯板を滑っているような振動が響く。ガガガガ...

茶白山と黒沢山とのコルまで少し登り、タラタラ斜面のシラビソ林を抜けると今晚の宿、高谷池ヒュッテに到着する。客は1Pのみだったので、ちょうど良い場所が確保できた。時間が早かったなので、火打方面に足を伸ばす。

と、その前にヒュッテには定時撮影の静止カメラが備え付けられている。時間がちょうど良かったので、せっかくなので、カメラに写ろう！ということで時間ちょうどに張り切ってジェスチャーをしたが、油断したタイミングでパシャリと写ってしまったようだ。なかなか難しい。

火打山山頂に行くには時間も遅かったなので、天狗の庭から鍋倉谷の源頭部をゴルジュ上まで滑る。斜度はゆるいが、雪はそこそこ緩んでいて楽しむことができた。

ヒュッテに着くと、程よく客で埋まっていた。テーブルが一脚、余っていたので宴会テーブルに使って宴会開始。担ぎ上げた酒類やつまみで豪華な夜を過ごした。夜は、ふとん、毛布、掛け布団の3点セットで、寝袋&エアマットいらず。おかげで11時間も爆睡してしまった。



贅沢な夜を過ごした。

3/22：高谷池ヒュッテ～火打山～黒菱山～ハンノキ平～日曹発電所～岡沢本田（晴れ）

早く出発しても、斜面がカリカリなので、7-9時で支度をする。斜面は適度に緩んでいて、順調に火打の肩に到着する。荷物をデポして、歩きで山頂へ。黒菱山までは、トラバースや雪庇をまわりこんで進んでいく。ルートを選べば登り返しはほとんど無い。

黒菱山直下の北面は樹林が濃く、カリカリで滑りにはならなかった。慎重に横滑りで下っていく。斜度が緩くなったところで、トラバース気味に快適に滑る。いよいよハイライトのハンノキ平へ滑り込む。つい最近発生したと思われるデブリに占拠されていたが、4人が滑るには十分な幅があった。滑っても、滑っても広大な斜面が続く。

途中から燕尾根に登り返して日曹発電所まで滑り込む林道は、岡沢本田集落まで雪上車のトレースがありチンタラとスキーで下ることができた。変化に富んだ楽しいルートだった。

下山後は、キトキト寿司へ。新井に来たときの食事はコレしかない！



【累積標高差：+2100m、-3700m、移動距離：30km】

【行程】

- <3/21> 杉ノ原リフトトップ(9:20)～三田原山(11:30)～高谷池(13:00)～天狗の庭(14:00)～鍋倉谷上部(14:30)～高谷池(15:30)
- <3/22> 高谷池(9:00)～火打山(11:00)～黒菱山(12:00)～黒菱川登り返し地点(13:10)～日曹第3発電所(15:00)～岡沢本田(16:20)

【地図】赤倉、妙高、湯川内、関山